

「世界津波の日」における取組について

令和2年1月
内閣官房国土強韌化推進室



「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道

- 日 時: 令和元年9月10日(火)、11日(水)
- 主 催: 北海道、北海道教育委員会
- 共 催: 国連防災機関(UNDRR)駐日事務所
- 後 援: 国土強靱化推進本部、内閣府(防災担当)、外務省、文部科学省、国土交通省、気象庁、経済協力開発機構(OECD)、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)
- 場 所: 北海道立総合体育センター「北海きたえーる」(札幌市)ほか
- 趣 旨: 地震や津波などの災害から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の「きずな」を一層深める。
- 参加者: 海外招へい者
43か国、257名(うち高校生214名)
国内参加校
68校、249名(うち高校生180名)
- 成果: 高校生が12のグループに分かれて「知識を得る」等の3テーマについて討議した成果を世界に広め、自然災害への関心を一層高め、自然災害から命を守るために行動するとの決意を示した「イランカラプテ宣言」をとりまとめた。



「世界津波の日」座談会

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

- 趣 旨: 11月5日の「世界津波の日」の紹介とともに、東日本大震災の体験を語り継ぐ震災ガイドグループ及び学生が主体となって防災対策等に取り組む団体の関係者と国土強靱化担当大臣らにより国土強靱化について現状認識や今後の課題、取組の方向性について意見交換を行い、その概要を関係地方新聞紙面等に掲載。

- 参加者: 武田良太 国土強靱化担当大臣
(敬称略) 藤井聡 ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会座長、京都大学大学院教授
武山ひかる 東京福祉大学1年生、東日本大震災・震災ガイドグループ「東松島市学生震災ガイドTTT」
河村拓斗 静岡大学3年生、静岡大学学生防災ネットワーク
上田啓瑚 静岡大学3年生、静岡大学学生防災ネットワーク
戸丸彰子 フリーアナウンサー

- 掲載日: 令和元年11月5日(火)

- 掲載紙について

○関係12紙

- ・東日本大震災での被災3県(岩手日報、河北新報、福島民報、福島民友)
- ・南海トラフ地震において甚大な被害が予想される8県(静岡新聞、中日新聞=愛知・三重=、紀伊民報、徳島新聞、高知新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞) 等

○共同通信サイト「OVO(オーヴォ)」



掲載紙面の一例(高知新聞)